

# 江東未来会議

## 第3分科会（健康・福祉分野）

### 第3回 議事概要

日時：平成19年11月6日（火）19:00～21:00

場所：江東区文化センター 6階 第1会議室

参加人数：18人

#### 1. 開会

#### 2. 事務局からの連絡事項

#### 3. 配付資料の概要について

【事務局より資料説明】

（質疑）

##### ○参加者

- ・今後の進め方について、第4回と第5回の間で各グループ間の調整を行うとあるが、それはどういうイメージか。なぜ調整が必要なのか。

##### ○辻ファシリテーター

- ・論点に関する意見、実現するためのアイデアについて第4回で議論し各グループ毎にまとめるが、第5回については分科会全体として絞り込む。
- ・各グループの成果を絞り込むにあたって、お互いその論点の内容等について意見交換を行い、たたき台を出したいと考えている。

##### ○参加者

- ・代表者だけで絞り込むことに問題はないのか。
- ・代表者で議論した調整結果を、その後グループに持ち帰って議論し直すのか。

##### ○辻ファシリテーター

- ・各グループの論点を確認する意味合いが強く、取捨選択することを強く意識しているわけではない。
- ・また、検討結果を各グループに持ち帰ることは想定していない。第5回で提示してそこで議論していただく。

○参加者

- ・意見を集約するという方向性はわかるが、区の考え方について話を聞く必要があるのではないかと思うがいかがか。

○参加者

- ・大変良い意見だと思うが、タイトなスケジュール上でどのように割り込ませるかが問題だと思う。
- ・現実的には、現行の計画を読み込むことで判断するしかないのではないか。

○参加者

- ・一つの案としては第5回に30分ほど時間をとって話を聞くのではどうか。

○参加者

- ・その時点で区の考え方について把握したとしても、仮に我々の考え方とズレがあった場合、どうするのか。その時点ではすでに時間的に軌道修正はできないのではないか。
- ・区の考え方がある一方で、我々は我々の考え方に沿って進めていくということで良いのではないか。

○参加者

- ・今回の「未来会議」では、江東区の未来のあるべき姿を議論している。現場にいる職員は、現状の取り組みについてはご説明いただけるだろうが、未来について説明出来るかどうか分からない。

○参加者

- ・区が考えている方向性については、聞いておいた方が、参考にはなるのではないかと考えた。

○辻ファシリテーター

- ・今までの皆さんのご意見を踏まえて、区の担当部署に聞きたいという内容があれば、各グループで意見として残しておいて頂きたい。
- ・その結果、どうしても聞きたい内容があれば、取り扱いについて区の方に相談して決定する。

○参加者

- ・意見としてまとめて担当者に依頼するという対応でよいと思う。

## 4. ワークショップ

### (1) ワークショップの進め方について

【事務局より資料説明】

(質疑)

○参加者

- ・健康・福祉というテーマは、体の健康だけではなく心の健康も含まれるべきであると思うが、そうした考え方でよいか。

○辻ファシリテーター

- ・当然含めて議論していただいて良い。

### (2) ワークショップの実施

#### ①作業

前回と同様のグループで、現行の基本構想についての読み直しを行い、前回議論した意見の再整理と、現状の課題に対する新たな指摘の追加、さらに今後あるべき姿に関する新たな論点について、付箋紙に記入した。

その上で、大きな「将来像」となる論点の絞り込みを行った。

【グループ毎に作業】

【作業結果】詳細は別紙（第3回 江東区未来会議（第3分科会：健康・福祉分野）グループ討議結果）参照

## 5. その他

－次回は11月27日とする。

－次回は、今回の続きと論点の整理、今後の具体的な進め方について検討する。

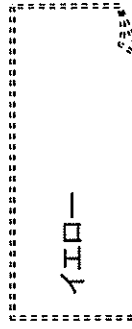
## 6. 閉会

以上

第3回 江東区未来会議  
(第3分科会:健康・福祉分野)

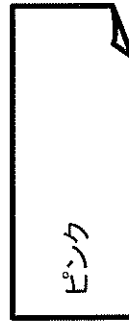
グループ討議結果

<凡例>



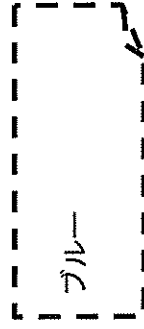
イエロー

:前回出された意見の再整理



ピンク

:現状に関する追加の意見



ブルー

:新しい論点

# Aグループ

## 論点1：老若共同参画できる社会を作る

・定年制の廃止  
・経験智の活用

横社会の意識が強い  
縦社会が弱い

横社会だけでなく縦社会の推進を強める

高齢者の社会活動参加を促進する

近隣へのアクセス・利用の幅を広げる

コロナ生活者への対応

## 論点2：江東区による医療従事者（医師、介護師、看護師など）の育成機関を作る

総合医療機関が区内に極めて少ない

技術面だけではなく多様なコミュニケーションの向上  
安心して受診・治療できる事（音声によるコミュニケーションだけに限らず）

個人医療機関の医師が高齢化しつつある

介護福祉士の養成  
区立特養ホームの建設  
区内に養成校を誘致  
江東区に介護用入院施設を多くする

特養ホームなど介護施設入居待機者が多い。1年以上待たないと入れない

施設及び介護従事者の不足が原因

区内に介護用入院施設が少ない

## 論点3：区の高齢者無料化及びバリアフリー化を実現する

道路、公共施設の早急なバリアフリー化  
情報のバリアの低さ  
・視覚障がい  
・聴覚障がい  
・外国人 etc

緊急時は情報が掴みにくい  
高齢者の健康や痴呆症防止の対策の充実

利用料が高騰している  
スポーツセンター等  
区の施設に対する高齢者入場無料化により健康に役立つ。（外出しやすくなる）

## その他

**バリアフリー**  
コミュニケーションが基となっている

**介護**  
ヘルパーさんの収入待遇が悪い  
現在の制度では事業所も悪いことをしなければ赤字となってしまふ。制度事態の改善が必要  
介護保険の切り捨てが始まっているように感じる

**医療**  
医療力の向上  
医科系大学付属病院のゆうち（入院できるもの）  
病院が縮小されたり廃院になる傾向にあるように思う。  
公共的なものを入れてほしい

**コミュニティ**  
地域（町内会）だけでなく、それぞれの地域でのネットワークが欲しい  
犯罪の増加  
ニート、フリーターの増加  
少子化の加速の現状  
多様なコミュニケーション  
・精神面の福祉  
・少子化の解決や犯罪の減の解決  
コミュニケーションの低さ  
・医療  
・介護  
・コミュニティ  
ネットカフェ難民・ホームレスが増えている  
発災後外国人や意思を通える不慣れた人への対策

# Bグループ

論点1:あるべき姿：高令者が安心して生活できる区にしたい。

論点1-1: 体、介護 介護保険が、より有意義な生活を営む為、より使いやすく、拡まっている。

介護家族の横のつながりが必要

(高令化社会への対応) 介護知識の普及

問題点、江東区は高令者の比率が高くなる割にそれに対する施策がない

介護予防事業のPR普及  
考えられる施策  
・要介護予防や老年症候群(転倒・低栄養症・口腔ケア・失禁etc.)の予防

二年待ちの特養ホームも面接で落とされる現状はなんとかならないのか  
高令者の不安を解決する仕組みが整っていない

成年後見制度の理解者が少ない

医療機関のたらいまわしなくしたい

高令者施設が不足している

介護予防が進んでいない

成年後見制度のPR不足

論点1-2: 心 いろいろなる仲間と気持ち良くすごせる地域になっている

(高令化社会への対応) 在宅介護の支援

老人らしからぬ生き方をする

引きこもりがちな高齢者を表へ出してゲーム、健康維持、向上に役立つように、ボランティアの人を活用して、健康寿命アップにつなげたい

考えられる対策  
・ボランティアの活用  
地域ぐるみの助け合い精神の醸成

論点1-3: さいふ

(高令化社会への対応) 介護保険負担の低減

住宅不安のないこと  
高令者の居住

交通機関や施設を気軽に利用できる

# Cグループ

## 論点1：自立

### 身体・健康

高令者委員会の設置  
区の政策に意見を上げる

現在都議柿沢未途氏が江  
東区・墨田区・江戸川区の  
合併構想を出しているが  
江東区はどう対応するつ  
もりなのか

高令者のグループホーム  
の建設  
の独り暮らしや認知症もふえ  
ているのでグループの助  
け合いで

与えるというのではなく(主  
体者)自立・自助の障害  
を取り除く  
社会参加の保証

## 論点2：生きがい

高令者はヒマがあるが金銭  
的に余裕なし。  
ヒマは学びたい人多し

働くところを与える

勉学の機会を与える

高令者の生涯学習の普及  
自悠大学の解放

心の健康

## その他

<病院の体制>  
私人としては救急車は使  
わないようにしている。すぐ  
急患を受入れる病院へは  
行きたくない

適正な価格で医療サービス  
が受けられる公立病院の拡  
充

<人にやさしい街づくり>  
犯罪を少なくすることが最も  
必要だと思う

<災害時・その他>  
大地震が起きた時は、寿命  
が尽きたとあきらめる

江東区は23区の中で医師  
の数が少ないようですが、心  
人口急増地域なので、心  
配です。  
ぜひ公立の病院を建設し  
てほしい

高齢になるとリハビリをす  
ることによって機能が向上  
する場面が多いと思う。  
リハビリ施設の充実を!

老介護の現状と知恵

近頃家族だけで火葬場だ  
けです。多いとい  
うことで理由はいろいろあ  
ると思いますが、10年後  
は確実に増えると思うので、  
ぜひ実現を!

老後の健康維持  
快適な生活ができる施設  
の拡充

ボランティアについては団  
体を作るのがシルバー人  
材センターへでも委任する  
のかはつきりすべきだ